

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版, CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	自衛隊入間病院(入間(30)病院等)	階数	地上3F
建設地	入間市向陽台二丁目1番4の一部	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域、指定無し	平均居住人員	373人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所、病院、集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年8月 予定	評価の実施日	2018年6月29日
敷地面積	279,252 m ²	作成者	舟橋弘平
建築面積	8,906 m ²	確認日	2018年6月29日
延床面積	23,439 m ²	確認者	小牧真弓



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 参照値: 100%
 建築物の取組み: 86%
 上記+ 以外の: 86%
 上記+: 86%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	室内環境については外気取入口を屋上とし、排気口との隔離距離を十分確保すると共に、異なる方位に配置することや、院内感染防止の観点から室内還気は各室単独になる空調システムとすることで配慮した。 室外環境については外皮断熱性能を高める事で、空調負荷の低減を図った。また雨水利用することで配慮した。	その他 特に無し
Q1 室内環境	外気取入口を屋上とし、排気口との隔離距離を十分確保すると共に、異なる方位に配置した。 また、院内感染防止の観点から室内還気は各室単独になる空調システムとした。	Q3 室外環境(敷地内) 植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。
LR1 エネルギー	外皮断熱性能を高める事で、空調負荷の低減を図った。 中央監視装置をBEMS機能を付加し、各熱源機、主要空調機のエネルギー消費量が管理できるシステムとした。	LR3 敷地外環境 LED照明を採用するなど設備の高効率化を図った。
Q2 サービス性能	災害拠点施設として各インフラが途絶しても、7日間病院機能が維持可能な設備を有している。	
LR2 資源・マテリアル	雨水利用を採用した。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質), **L: Load** (建築物の環境負荷), **LR: Load Reduction** (建築物の環境負荷低減性), **BEE: Built Environment Efficiency** (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS
自衛隊人間病院(人間(30)病院等新設建築工事)**

使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版、C
評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
0 建築物の環境品質									2.9
Q1 室内環境					0.40		-		2.9
1 音環境				2.6	0.15	2.6	1.00		2.6
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.41	3.0	0.41		
1.2 遮音				3.0	0.41	3.0	0.41		
1 開口部遮音性能				3.0	0.47	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能				3.0	0.53	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20		
1.3 吸音				1.0	0.19	1.0	0.18		
2 温熱環境				2.8	0.35	2.8	1.00		2.8
2.1 室温制御				2.9	0.50	2.8	0.50		
1 室温				2.8	0.39	2.8	0.58		
2 外皮性能				3.0	0.26	3.0	0.42		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.35	-	-		
2.2 湿度制御				2.9	0.20	2.8	0.20		
2.3 空調方式				2.6	0.30	2.8	0.30		
3 光・視環境				2.7	0.25	2.9	1.00		2.8
3.1 昼光利用				3.0	0.30	2.9	0.30		
1 昼光率				3.0	0.60	3.0	0.59		
2 方位別開口				-	-	1.0	0.03		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.38		
3.2 グレア対策				2.7	0.30	3.0	0.30		
1 昼光制御				2.7	1.00	3.0	1.00		
3.3 照度				2.2	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気質環境				3.6	0.25	3.0	1.00		3.6
4.1 発生源対策				3.0	0.51	3.0	0.63		
1 化学汚染物質				3.0	1.00	3.0	1.00		
4.2 換気				4.2	0.31	3.0	0.38		
1 換気量		中央管理方式 30m ³ /h・人(病院棟)		4.1	0.48	3.1	0.33		
2 自然換気性能				3.0	0.04	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		屋上から取入外気導入、各排気口から約8.5m離れて設置(病院棟)		4.6	0.48	3.0	0.33		
4.3 運用管理				4.5	0.19	-	-		
1 CO ₂ の監視				3.0	0.06	-	-		
2 喫煙の制御		全館禁煙(病院棟)		4.7	0.94	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		3.1
1 機能性				2.9	0.40	3.3	1.00		2.9
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60		
1 広さ・収納性				3.0	0.04	3.0	0.92		
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.04	3.0	0.08		
3 バリアフリー計画				3.0	0.92	-	-		
1.2 心理性・快適性				3.3	0.30	3.8	0.40		
1 広さ感・景観		病室天井高2.6m、HCU天井高2.7m		3.0	0.04	3.9	0.50		
2 リフレッシュスペース				2.0	0.04	-	-		
3 内装計画		カラーイメージやパースを作成して内装仕上材の検討を行った		3.4	0.92	3.7	0.50		
1.3 維持管理				2.5	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計				2.9	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保				2.2	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.3	0.30	-	-		3.3
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.3	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能		免震階を設けている(病院棟)		4.6	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水管、給湯管にC以上を管材を使用(3棟共通)		4.1	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				3.8	0.20	-	-		
1 空調・換気設備		評価する取組み4つを全て実施(病院棟)		4.2	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備		評価する取組みを5つ実施(病院棟)		4.4	0.20	-	-		
3 電気設備		評価する取組みを3つ実施(病院棟)		3.8	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法		耐震クラスAを採用(病院棟)		3.8	0.20	-	-		
5 通信・情報設備				3.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性			3.2	0.30	3.0	1.00	3.2
3.1 空間のゆとり			4.6	0.28	3.0	0.50	
1	階高のゆとり	病院棟1.2階階高4.8m、3階階高4.6m	5.0	0.60	3.2	0.60	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.174(病院棟)、0.1701(教育棟)	4.0	0.40	2.8	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.28	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			2.6	0.44	-	-	
1	空調配管の更新性		2.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		2.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		外皮に断熱材を使用	4.8	0.20	-	-	4.8
2 自然エネルギー利用		病院棟3階南面にライトシェルフ設置	3.9	0.10	-	-	3.9
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = -	2.8	0.50	-	-	2.8
4 効率的運用			3.4	0.20	-	-	3.4
集合住宅以外の評価			3.4	0.93	-	-	
4.1	モニタリング	熱源設備、空調設備はレベル4に該当(病院棟)	3.9	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			3.0	0.07	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.3	0.20	-	-	3.3
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.5	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	雑用水(便器洗浄水)として利用(病院棟)	3.8	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.60	-	-	3.2
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.11	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	再生路盤材、高炉セメントB種(病院棟・隊舎棟)	3.9	0.22	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み	OAフロア採用(病院棟・教育棟)	3.9	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.20	-	-	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.70	-	-	
1	消火剤	窒素ガスを消火剤として使用(病院棟)	4.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率86%	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.2	0.25	-	-	
1	雨水排水水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			-	-	-	-	
1	騒音		-	-	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.67	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.33	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインのチェックリストを一部満たして、広告照明無し。	4.0	0.70	-	-	
2	日光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県

重点項目シート

使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	自衛隊入間病院(入間(30)病院等新設建築工事)	BEE	1.1	BEEランク
------	--------------------------	-----	-----	--------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO ₂ の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
3.5	+	2.6	=	6.1	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上		

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO₂の削減		スコア平均	3.5
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.5
< 配慮した内容を記述 > LED照明を採用するなど設備の高効率化を図った。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.6
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
< 配慮した内容を記述 > 植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行った。			

: 入力欄